

# 今年で、開院 5 周年を迎えます。



茨城県西部メディカルセンターは、(地独)茨城県西部医療機構の発足と併せて、平成30年10月に、県西総合病院と筑西市市民病院を統合して開院しました。

開院当初から、急性期中心の医療提供と二次救急医療の完結に取り組むと共に、地域医療の中核を担うため、さまざまな取り組みを行っています。

10月1日で5周年を迎える西部メディカルセンター。地域の安心安全を守るため走り続けてきた、病院のこれまでとこれからについて紹介します。

【問】茨城県西部メディカルセンター  
☎ 24-191111



## 西部メディカルセンターのこれまでの歩み

### 主な出来事

#### ▼平成30年10月1日

- ・茨城県西部メディカルセンター開院
- ・茨城県地域災害拠点病院に指定

#### ▼令和2年

- 4月 在宅療養後方支援病院指定  
新型コロナウイルス感染症患者受入れ開始
- 12月 新型コロナウイルス感染症の重点医療機関に認定

#### ▼令和3年

- 10月 地域医療支援病院に認定
- 11月 茨城エコ事業所に認定

### ● 新型コロナウイルス感染症への対応

令和2年から令和5年6月までに、約300人の入院患者、約2,500人以上の外来患者の受け入れを行いました。今後も、新興感染症から地域を守る対策に取り組んでいきます。

### ● 病院認定県内初！ エコ事業所として認証

県が定める、環境負担を減らす取り組みを実践する事業所として、県内の病院で初めて「茨城エコ事業所」の認定を受けました。

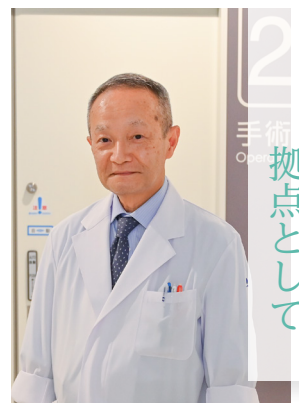
### 安心の医療を提供する



西部メディカルセンター  
病院長 梶井 英治

当院の使命は、二次救急と急性期入院医療を担う中核病院として良質な医療を提供し、住民のみなさんが安心して暮らせる地域(まち)づくりに貢献することです。開院から5年が経ちましたが、病院づくりはまだ道半ばです。みなさんの声を真摯に受け止め、使命を遂行すべく一層努力していきます。

### 地域医療を支える



(地独)茨城県西部医療機構  
理事長 水谷 太郎

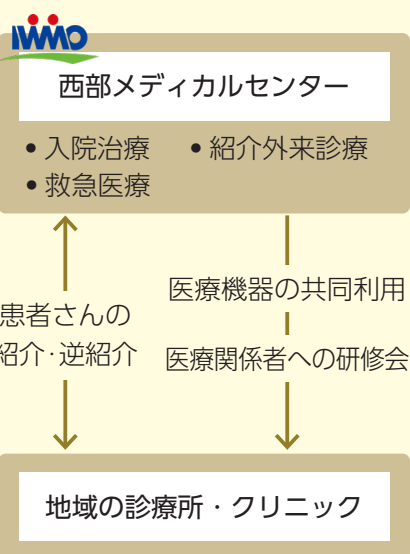
西部メディカルセンターと筑西診療所は、みなさんのおかげで、5周年を迎えることができました。開院以来、地域医療を支える拠点としてさまざまな取り組みを行ってきました。これまでの最大の課題は、新型コロナウイルス感染症への対応です。現在も流行は続いており、今後も慎重に取り組んでいきます。

# 茨城県西部メディカルセンターは

西部メディカルセンターの“今”を紹介します！

## 地域医療支援病院として地域の医療を支える

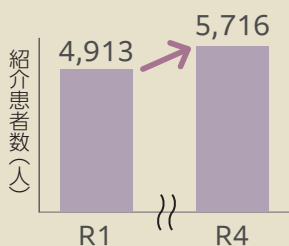
地域医療支援病院は地域医療の中核を担い、地域の各医療機関と連携を図ります。地域の医療機関全体で「一つの病院」となることで、患者さんに切れ目のない医療を提供できます。



point

### 紹介患者数の増加

地域の医療機関と連携が充実し、地域のクリニックなどからの紹介で受診する人が増えています。



## 子育て世帯を応援

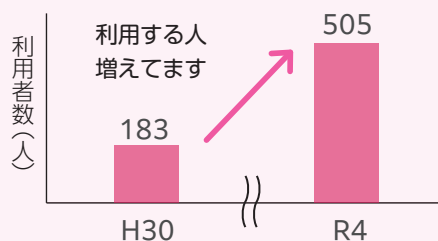
### 病児保育室「ひまわり」

筑西市、桜川市、下妻市に住む生後6か月から中学校就学前までのお子さんを預かります。令和4年度は月間40人以上の利用がありました。

- 保育時間（平日のみ） 8:00 ~ 18:00
- 定員 6人/日
- 利用料 2,000円（食事別）

point

筑西市民で2、3号認定を受けて保育施設を利用しているお子さんは**無料**。



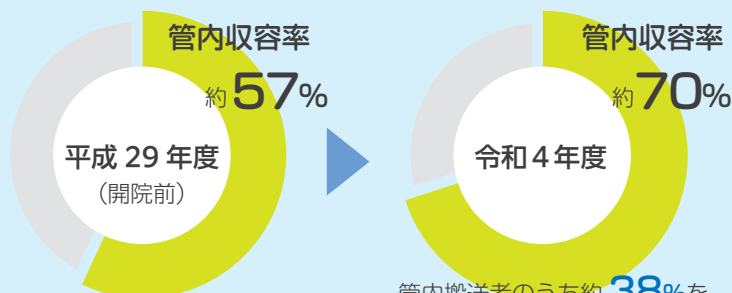
## 救急医療の充実への取組み

開院前（平成29年度）の筑西広域消防の救急搬送状況は、搬送された約8,000人のうち、管内収容率は約57%で3,000人以上が管外へ搬送されている状況でした。

西部メディカルセンターが開院後、令和4年度には管内収容率は約70%に高まり、地域の救急医療に貢献しています。



### 筑西広域消防の救急搬送状況



管内搬送者のうち約**38%**を本院で受け入れました。